

町民のみなさんと歩む

木古内町

議会だより

<http://www.town.kikonai.hokkaido.jp/kikonaityougikai/kikonaityougikai.htm>

木古内町議会

検索

vol. 154

令和3年5月1日発行

・発行／木古内町議会

・編集／議会だより編集特別委員会

〒049-0422北海道上磯郡木古内町字本町218

TEL. 01392-2-3131 FAX. 2-3622

木古内小学校入学前の交通安全教室

～横断歩道は、手を上げて渡ろうね！～

contents

定例会・臨時会

P2

5議員が町政を問う

P4

常任委員会報告

P10

特集1 ここが知りたい「みんなの予算」

P11

令和3年度予算等審査特別委員会

P14

お知らせ ニュース&インフォメーション

P18

2年間の議会だよりを振り返る

P19

町民インタビュー&編集後記

P20

3月定例会

可決された 主な議決事項

議案第11号
令和2年度木古内町一般会計補正予算(第12号)

議案第12号
令和2年度木古内町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

議案第13号
令和2年度木古内町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

議案第14号
令和2年度木古内町国民健康保険病院事業会計補正予算(第7号)

議案第15号
令和2年度木古内町簡易水道事業会計補正予算(第3号)

議案第16号
令和2年度木古内町高齢者介護サービス事業会計補正予算(第4号)

議案第17号
令和2年度木古内町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)

議案第18号
令和2年度木古内町下水道事業特別会計補正予算(第4号)

議案第20号
木古内町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について

議案第21号
木古内町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

議案第22号
木古内町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

鈴木町長、初予算提案 認定こども園整備・出生お祝い事業等盛り込む

一般質問
5議員より

補正予算の主な事業

議案第24号
木古内町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

議案第26号
木古内町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

議案第27号
機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例制定について

議案第1号及び第2号
人権擁護委員候補者の推薦について
※令和3年度予算関連議案は、令和3年度予算委員会へ付託されました。(詳細14ページ以降)

議案 審議

議会閉会中の所管 事務調査項目の承認

議会閉会中の総務・
経済常任委員会所管事務調査項目を承認しました。

- 江差木古内線バス運行補助金 230万円
- 障害福祉システム改修委託料 88万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種業務用パソコン 17万円
- 第一佐々川橋汚水管渠移設業務補償費 17万円

- 小中学校一般・医薬消耗品等 80万円
- 最終日には再度本会議を開催し、予算等審査特別委員会に付託された議案13件、発議案1件を原案のとおり可決して閉会しました。

- その他緊急を要する課題について
- 認定こども園について
- まちづくり新幹線課
- 新型コロナウイルス感染症対策について
- その他は各事業会計への繰出金と減額補正となっています。

町民課

令和3年度行政執行方針を述べる鈴木町長(右)
令和3年度教育行政執行方針を述べる野村教育長(左)
（3月5日～8日）は、令和2年度一般会計のほか7会計の補正予算、条例の制定・一部改正等の議案6件を可決しました。
詰問第1・2号では、人権擁護委員について推薦があり、可と答申しています。
また、一般質問では、廣瀬議員、平野議員、新井田議員、竹田議員、東出議員の5名から出され活発な議論が交わされました。（詳細49ページ）
予算等審査特別委員会は、3月8日から12日（実質4日間）まで

- 最終日には再度本会議を開催し、予算等審査特別委員会に付託された議案13件、発議案1件を原案のとおり可決して閉会しました。

●その他緊急を要する課題について

●認定こども園について

●まちづくり新幹線課

●新型コロナウイルス感染症対策について

●その他は各事業会計への繰出金と減額補正となっています。

●その他緊急を要する課題について

●認定こども園について

人權擁護委員に
仁禮氏と木元氏

人権擁護委員の候補者として「仁禮聰子」氏と「木元栄」氏が推薦され、議会の意見を求められましたので、可と答申しています。



木元 栄さん



にれい あきこ
仁禮 聰子さん

資金不足が発生したためと思つていたんです
が、説明の中にあつた
経営強化の内容と、なぜこの時期なのかを説明願います。

この凍結に対し、北海道では、自然災害という位置付けで、水道凍結に対する補てんがされるため、今回補正させていただくものですが、構造的な欠陥ではありません。

ふるさと納税の取り扱い方法は

平野議員 ふるさと納

税の積立金について
1年間のお金の流れを
教えていただきたい。
ふるさと納税をする

り資金不足になるため、このタイミングで繰り出しをお願いしたいと思います。

経営強化という部分は、プロジェクトチームを立ち上げ、利用者の増加や人の異動等を絡めた人件費等で、安定した経営というものを目指していきたい。

方が、様々な政策のジャンルを選べるという説明でしたが、その仕分けに関する管理状況とその資料は添付されているのかも含めて説明願います。

道営住宅の水道凍結に関する説明を

福田 総務課長 ふるぎ
と納税に関しましては
毎月サイトの方から連

質疑

高齢者介護サービス
事業会計への負担金は
資金不足によるもので
はないのか

竹田議員 高齢者介護サービス事業会計への負担金として1億1千円計上しています。

竹田議員 道営住宅修繕費で水道凍結が構造的な欠陥で凍結したか、個人的なミスなのか、そしてどの部分なのか説明願います。

結があり、調定を上げて歳入し、それぞれの目的ごとの基金の口座に入れることになります。目的仕分けについては、歳入する段階で寄付者の方から、それが目的が示されてまいりますので、それを確認し、基金に歳入しています。

道職員派遣に係る 費用負担の取り扱いは

令和3年第1回臨時
会は、2月1日に開催

質疑

され、令和2年度一般会計補正予算、木古内町国民健康保険病院事業会計補正予算の議案2件について、可決しました。

種事業で、現在も送迎バスを運行していますが、バスに乗れない高齢者に対し、どのような対応を考えているのか。

第1回 臨時会 2月1日開催

可決された 主な議決事項

議案第1号 令和2年度木古内町一般会計補正予算（第11号）

議案第2号
令和2年度木古内町国民健康保険病院事業会計補正予算(第6号)



一般質問

5名の議員が 町政を問う

一般質問は、定例議会（年4回）において、町政全般にわたる事項を議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見、是正を求めるものです。



廣瀬 雅一 議員

1 選挙公約について

平野 武志 議員

1 令和3年度町政執行方針の具体的な内容について

2 水産業における観光振興と

連携した取り組みについて

3 庁舎内の環境と機構改革について

新井田昭男 議員

1 緊急通報器具貸与事業並びに

緊急通報情報事業について

竹田 努 議員

1 令和3年度町政執行方針について

東出 洋一 議員

1 ふるさと納税について

2 「新しい時代に対応した教育の推進」について



廣瀬 雅一 議員
Hirose Masakazu

問 ふるさと納税を財源とした水道料金の基本料金の値下げは

答 任期内の実現に向け、総合的に判断していく ——町長

ると思っておりますので、今後も建設的な協議・議論を実施する中で、施策が展開されるることに期待します。

度は、三千三百万元を超える見込みです。町長就任後、使途を定めない「町民と町長のワクワクプロジェクト」を追加し、水道料金の基本料金の値下げを含む様々な事業に活用できるよう取り組んでおり、選挙公約の実現に邁進してまいります。

①ふるさと納税を財源とした水道料金の基本料金の値下げについて
②LED水耕栽培・陸上養殖など安定した雇用と生産の確保について
鈴木町長 これまで、ふるさと納税の寄附額は、年平均約400万円程度でしたが、令和2年度は、3千300万円を超える見込みです。

新型コロナウイルス
感染症の終息がい
まだ見えない中、当町
の感染症対策は、大変
スピーディ感をもつて

そこで、次の2点における選挙公約に対し
る現在の進捗状況と課題、そして今後の展開
について、町長へ伺います。

ふるさと納税を財源とした水道料金の

進捗が見受けられません。
ん。

陸上養殖については、ウニの陸上養殖について、先進地視察を行い、調査研究を進めしており、1名の漁業者が木古内支所の取水施設で試験的に取り組んでおります。

町といたしましては、全ての養殖事業についての可能性を除外せず、町で想定される全ての可能性を探りながら、実現に向けて一歩ずつ確実に進んでまいりました。

水耕栽培事業と陸上養殖事業誘致の進捗状況ですが、水耕栽培は今まで2件の事業者から問い合わせがあり、現在、諸条件等を整理しています。

現在、様々な事業者から、当町の可能性を探るという問い合わせが増えておりますので、まずは民間事業者からいただいた問い合わせを優先的にクリアし、結果につなげていければと思っております。

現状は、民間事業者がから問い合わせが増えておりますので、あくまでも企業誘致という形で、進めてまいりましたが、いよいよ町で想定される全ての可能性を探りながら、実現に向けて一歩ずつ確実に進んでまいりました。

いよいよ町といたしましては、全ての養殖事業についての可能性を除外せず、支所の取水施設で試験的に取り組んでおります。

いよいよ町といたしましては、全ての養殖事業についての可能性を探りながら、実現に向けて一歩ずつ確実に進んでまいりました。

めていきたい。企業誘致はそのあとです。」と掲載されておりました。いま一度、町長の企業誘致に対する思いを伺います。

鈴木町長 まず想定としまして町が事業者となる考えを最初に思つていきました。

現在、様々な事業者から、当町の可能性を探るという問い合わせが増えておりますので、まずは民間事業者からいたいたいた問い合わせを優先的にクリアし、結果につなげていければと思つています。

現状は、民間事業者から問い合わせが増えておりますので、あくまでも企業誘致という形で、進めてまいりました。

再質問
昨年4月17日

問 移住・定住対策について、具体的な施策展開をし挑戦すべき

答 大胆な移住・定住対策の政策実行に取り組む —— 町長



平野 武志 議員
Hirano Takeshi

その年の予算と整合性があるものと認識しておりますので、私自身が特に注視する3点について、お伺いいたします。

質問1 第6次木古内町振興計画を新町長として新規計画作成や変更をする考えは。

鈴木町長 第6次木古内町振興計画は、まち

質問3 第2期木古内
町まち・ひと・しごと
創生総合戦略（以下、
総合戦略）をもとに事
業を展開しているとあ
り、常任委員会でも
様々な意見が出され、
その後、変更案も示さ
れておりません。

特に、移住・定住対
策については、具体的

携した取り組みは、漁業者の収入確保をあわせ持つたプロジェクトと考えます。

売所の提供は、他の施設と併設をしていくこと、
とが理想だと思うが。
鈴木町長 漁業者並びに
に関係機関と直売所について、実現に向けた
協議を進めてまいります。

(3) 専門職員の人事交流
(4) ボランティア課創設
(5) 各種手続きの出張

配置

鈴木町長 (1)、(4)、(5)

は、現時点では難しい
(2)、(3)は、町民サービスの向上を図るため、
検討してまいります。

町政執行方針の 具体的な内容を問う

鈴木町長 納稅額にかかわらず、新規事業の必要性が優先して検討されるべき。事業効果

水産業における 観光振興と連携した 取り組みの実施を

用していないスペースがあること。加えて、漁協が養殖事業の計画を持つてはいることから

行政サービスの創出が求められていると思いますので、そこを目指したいと思います。

づくりの指針として、
官民協働で策定されま
した。実施計画は、毎
年度、見直しています

質問2 新規事業につ
いては、ふるさと納税
次第とも捉えられる表
現であり、歳入として
確定することができな
い財源では、新たな事
業展開につながらない

な施策展開し、挑戦していくべきと思うが。
鈴木町長 総合戦略については、次回策定推進委員会において、更素案を提示して修正を予定しています。

いましたが、個人向けメニューとしても検討したいと思つております。**質問2** 釜谷漁港は、町内唯一の遊漁船を停留できる漁港であり、マリンパーク化を進め町内の観光スポットへ展開すべき。

いやりのある町政
思を進めるため、
「おもてなし」をテー
マに職員の接遇能力の
向上、庁舎の環境改善
を図るとあります。が、
その具体案は。

定例会

一般質問

常任委員會

特集

予算審査特別委員会

お知ら

議會編集特別委員會

いやりのある町政
を進めるため、

6



新井田 昭男 議員
Niida Akio

問 緊急通報情報事業における登録者数の増加に対する取り組みを

答 各町内会との連携を強化し、登録者数の増加に取り組む ——町長

**地域住民の安心・
安全が最優先**

去る2月18日に開催されました総務・経済常任委員会において、第8期木古内町老人福祉計画・介護保険事業計画（素案）が示されました。

この計画の中に第7期の実施状況が記載されており、その中で緊急通報器具貸与事業並びに緊急通報情報事業の実績が明記されております。今後、後期高齢者や一人住まいの方の増加が見込まれる状況で、「ひとりの不幸も見逃さない」ためにも、この両事業を展開することによる成果が大いに期待されます。

当町においては、すでに後期高齢社会という課題に直面しており、地域住民の安心を確保するために、両事業へのさらなる公助と、地域を巻き込んだ共助は

必要不可欠と考えますので、以下の3点について伺います。

質問1 地域包括ケアシステムの深化・推進
はあるものの、在宅での更なる安心を確保するため、緊急通報器具貸与事業での通報機器利用者数の増加に対する取り組みについて伺います。

鈴木町長

緊急通報器具の貸与状況は、2月末現在で、町が所有する30台のうち24台を貸し出しています。

現在、貸与している緊急通報器具については、今後、ITやAIの活用などを検討し、令和4年度中に器具を更新することで、高齢者の皆様の安心と安全の確保を図りたいと考えています。

質問2 緊急通報情報事業は、緊急時に消防署・警察署が連絡先や病名等の情報によるしつかりとした対応とし

必要不可欠と考えますので、以下の3点について伺います。

質問3 我が町で、「ひとりの不幸も見逃さない」ため、公助の考え方と地域を巻き込んだ共同み

めます。

鈴木町長

公助は、住み慣れた地域で生活していくいただくための取り組みを継続していくことや、互助、共助では対応できないことを側面から支援していくことをとと考えております。

共助の基礎となるの

であります、今後を見据え、情報登録者数の増加に対する取り組みについて伺います。

要望 最後に、町長におかれましては、全てにおいて危機管理が必要だと考えます。これは、防災だけではなく、システムのさらなる深化・推進に取り組んでまいりたいと思っております。

引き続き、包括ケアシステムのさらなる深化・推進に取り組んでまいりたいと思っております。

それと担当課におかれましては、既にもうおられましては、既にもう後期高齢化社会に入っています。住民に寄り添うということを念頭において、今後の事業展開にぜひ成果が上がるようにご尽力をお願いしたいと思っています。

は自助でございますが、今後をみについて伺います。

竹田 努 議員
Takeda Tsutomu



問 ふるさと納税の增收策は

答 町内事業者と協議し、商品群の増加に努めます —— 町長

**令和3年度行政
執行方針について**

令和3年度においては、鈴木町政の公約等が反映されている执行方針で、出生お祝い事業、認定こども園整備への支援、高齢者福祉サービス利用券交付事業等が示されました。人口4千人を切り、高齢化率も50%を超え、このままでは主要財源である税収、地方交付税への影響も懸念されます。

また、各企業会計においても、今後さらに人口減少、高齢化の影響が出てくるものではないかと将来に大変不安を抱いています。

今までは、高齢になつても安心して暮らせるまちづくりに必要な手立てが若干不足していると思いますので、以下の2点について、見解を伺います。

質問1 人口減少対策の一として高規格幹線道路函館・江差自動車道供用開始に合わせた大胆な移住・定住対策を講じる必要があると思うがいかが。

鈴木町長 假称木古内

インターネットエンジの開通は、人の流れ及び物流の活性化とともに救急搬送の迅速化など、当町に大きな効果をもたらすものと期待しております。移住・定住対策は、企業誘致による雇用の場の確保とともに、子どもから老年寄りまでが安心して生活できる環境を整えるために、下水道の整備など、現在は住環境整備を進めています。

また、掲載しているサイトも増加することを検討しております。ふるさと納税の增收は、地域経済の発展はもとより、将来も安定した財政運営を継続するため、最も重要な財源確保の一つであると思っていますので、見込額以上の寄附額となるよう、官民一体となつて進めます。

質問2 ふるさと納税の增收策についての考え方をお聞きします。

鈴木町長 本年度の実績をもとに、商工業者や一次産業の方々へ趣旨や経済効果などを説明し、その商品群を増やしてくれるよう

取り組みを進めます。さらには、現在商品数のうち、約2%しか在、漁組との協議を進めており、令和3年度に、新たな商品として掲載される予定です。

また、掲載しているサイトも増加することを検討しております。このふるさと納税もいろいろなサイトへの登録等も大事だとは思いますが、結局は「草の根」が大事ではないかと思つております。

外に住むご家族や知人の方に、それぞれが声をかける、そういうふた総合力のもとに変わつてくると思いますので、報告ができるように邁進します。

再質問 現在、総務課の担当が兼務していますが、令和2年度の実績の7倍、約2億円を想定したふるさと納税の担当部署を作るくらいの意気込みが必要だと思いますがいかが

鈴木町長 現在は、総務課が兼務しておりますが、令和3年度の機構改革において担当の部署を作りますので、今まで以上に取り組みを強化できると思っております。

このふるさと納税もいろいろなサイトへの登録等も大事だとは思いますが、結局は「草の根」が大事ではないかと思つております。町外に住むご家族や知人の方に、それぞれが声をかける、そういうふた総合力のもとに変わつてくると思いますので、報告ができるように邁進します。



東出 洋一 議員
Higashide Youichi

問 生きた英語に触れられる海外研修等を実施する考えはないか

答 インターネットの活用を図り、効果的な活動を展開します — 教育長

ふるさと納税は、地方自治体が自ら財源を確保し、様々な施策を実現するために有効な手段であると思います。

今回の執行方針では、町税、地方交付税、ふるさと納税で財源を確保すると記載されており、今後、ふるさと納税をしてくれた方と一緒に、そして長いつながりを持つ取り組みを進めていくことも重要と考えます。

そこで、以下の2点について町長の考えをお伺いいたします。

質問1 ふるさと納税をされた方に對し、継続的に寄付をしていたくだための取り組みについて伺います。

鈴木町長 当町では、寄附していただいた方に対し、返礼品にお礼文を同封しており、継

続的、そして長いつながりを持つ取り組みを進めていくことも重要なと考えます。

ふるさと納税は、地

方自治体が自ら財

源を確保し、様々な施

策を実現するために有

効な手段であると思

います。

今回の執行方針では、町税、地方交付税、ふるさと納税で財源を確保すると記載されており、今後、ふるさと納税をしてくれた方と一緒に、そして長いつながりを持つ取り組みを進めしていくことも重要なと考えます。

そこで、以下の2点について町長の考えをお伺いいたします。

質問2 収支の内容について、海産物の返礼品が少ないように感じるが、今後の返礼品の増加策についてお伺いいたします。

鈴木町長 これまで、上磯郡漁業協同組合と協議を進めてまいりましたが、令和3年度に商品掲載ができるよう協議を進めます。

ふるさと納税は、地

方自治体が自ら財

源を確保し、様々な施

策を実現するために有

効な手段であると思

います。

今回の執行方針では、町税、地方交付税、ふるさと納税をされた方に對し、継続的に寄付をしていたくだための取り組みについて伺います。

鈴木町長 当町では、寄附していただいた方に対し、返礼品にお礼文を同封しており、継

続的、そして長いつながりを持つ取り組みを進めしていくことも重要なと考えます。

そこで、以下の2点について町長の考えをお伺いいたします。

質問3 収支の内容について、海産物の返礼品が少ないように感じるが、今後の返礼品の増加策についてお伺いいたします。

鈴木町長 これまで、上磯郡漁業協同組合と協議を進めてまいりましたが、令和3年度に商品掲載ができるよう協議を進めます。

ふるさと納税は、地

方自治体が自ら財

源を確保し、様々な施

策を実現するために有

効な手段であると思

います。

この木古内の海で採れた美味しい魚を全国の皆様に食べてほしいと思っています。

野村教育長 教育委員会では、子ども達が外国人の方々と英語での体験活動をとおして、英語力やコミュニケーション能力の向上を図ることを目的に、平成30年度からイングリッシュ

ふるさと納税は、地

方自治体が自ら財

源を確保し、様々な施

策を実現するために有

効な手段であると思

います。

総務・経済 常任委員会 レポート

3月定例会において
「所管事務調査報告」
が行われました。

総務経済常任委員会は
12月定例会以降、所管事務調査を1回開催し、3月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

調査した事務調査

第5回 2月18日開催
総務・経済常任委員会

○町民課
・認定こども園について
○まちづくり新幹線課
・新型コロナウイルス感染症対策事業の進捗状況について
・江差木古内線バス運行補助金について

○保健福祉課
・第8期木古内町老人福祉・介護保険事業計画について

○産業経済課
・地域おこし協力隊の募集業務について

令和4年度 認定こども園開設

万全の体制で事業が開始されることに期待

所管事務調査報告

令和4年4月
認定こども園開設

継続調査中である、

認定こども園開設を受けた進捗状況の報告を

ため、認定こども園を開設する社会福祉法人の投資額や運営後の負担が、少しでも軽減されるような施策展開と行政指導に努めていた

ため、認定こども園を開設する社会福祉法人の投資額や運営後の負担が、少しでも軽減されるような施策展開と行政指導に努めていた

職員が一丸となり、開設に向け協力体制を整備し、行政支援のもと万全の体制で事業が開始されることに期待する。

第8期木古内町老人福祉・介護保険事業計画を確認
令和3年度から3カ年

の上記計画が示されました。人口減少が進

んでいる現状の数値に基づいた計画がなされ

ており、介護保険料の

微増やサービス事業等

の計画内容について確

認いたしました。

しかし、介護保険給付対象・対象外サービスのどちらも新たな取り組みがなく「福祉の

町長が力を入れてい

る、水産業施策の2年

目に向け、地域おこし

協力隊として、全国か

ら漁業者を募集すると

いう内容の説明を受け

ました。

まずは、しつかり人

材を確保するため、待

が開設することとなる
初めての認定こども園
が開設されることとなる

ため、認定こども園を開設する社会福祉法人の投資額や運営後の負担が、少しでも軽減されるような施策展開と行政指導に努めていた



建て替えを予定している木古内保育園

また、当町においては、未就学の子供が通える唯一の施設となるため、子どもたちが素晴らしい環境で健やかに成長することを期待するとともに、認定こども園を開設する社会福祉法人及び保護者と

地域おこし協力隊が活気づくことを望む

町・木古内」を掲げるには物足りなさを感じます。

今後、計画を遂行するなかで高齢者が必要なサービスを隨時模索し、必要であれば計画の追加や変更をして行くなど、適切な対応に期待する。

町長が力を入れている、水産業施策の2年目に向け、地域おこし協力隊として、全国から漁業者を募集するという内容の説明を受けました。

まずは、しつかり人材を確保するため、待



4月5日に着任した
伊藤 公博氏（中央）

遇や募集告知の方法を再検討するべきと申し添えます。
また、これまで「地域おこし協力隊」制度を活用して取り組んできた内容と定住に至らなかつた課題をしっかりと分析し、本来の目的である移住定住が達成され、当町の水産業が活気づききっかけになることを望みます。

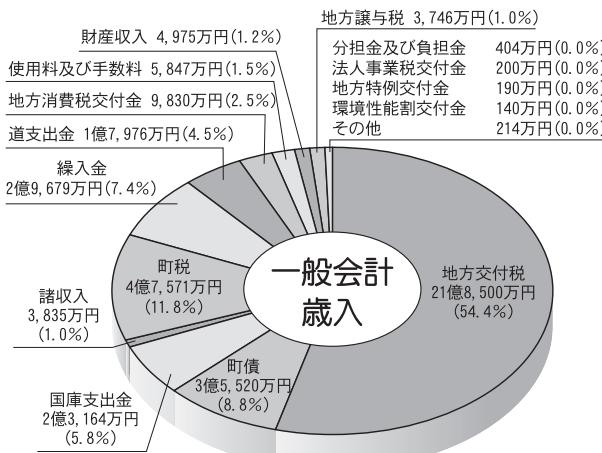
ここが知りたい！

「みんなの予算」をどう使う？

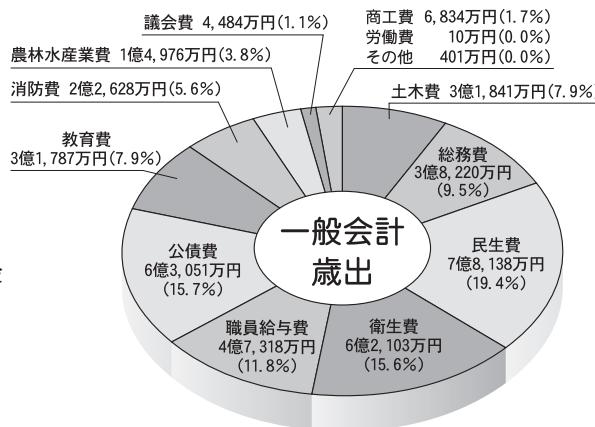
令和3年度 一般会計 予算総額

40億1,791万円

【前年度対比 0.8%増】



歳入予算額 40億1,791万円



歳出予算額 40億1,791万円

■基金(貯金)の状況 令和3年3月末現在 千円未満四捨五入です。

基金の種類	総額	基金の種類	総額
財政調整基金	12億3,030万円	江差線代替輸送確保基金	6億1,676万円
減債基金	251万円	旧江差線施設解体撤去事業準備基金	2億3,684万円
ふるさと振興事業基金	6万円	木古内町企業振興促進基金	1億3,480万円
地域振興基金	2万円	国保事業基金	1億5,072万円
地域福祉基金	371万円	木古内町中小企業・小規模企業経営改善等支援基金	2,346万円
木古内町教育基金	141万円	木古内町森林環境譲与税基金	1,004万円
まちづくり応援基金	4,915万円	計	24億5,977万円

※3月例月出納検査終了後、上記のとおり監査委員より報告を受けました。

← 次ページ 「みんなの予算」事業の概要

予算の概要にふれてみる

2. 教育・文化

1億3,510万円

(1)学校教育

2,580万円

【継続事業】

①他自治体所在高等学校通学支援事業	132万円
②特別支援教育支援員配置事業事業	789万円
③外国語指導助手(ALT)配置事業	535万円
④各部活動・大会参加支援事業(小・中学校)	230万円
【事業拡充・事業見直し】	
⑤義務教育教材副読本等配布事業(小学校)	78万円
⑥義務教育教材副読本等配布事業(中学校)	27万円
【新規事業】	
⑦ICT教育支援事業	159万円
⑧中学校フェンス改修事業	630万円

(2)社会教育

1億120万円

【継続事業】

①町史編さん事業	1,419万円
②郷土資料館運営事業	249万円

【新規事業】

③公民館長寿命化事業	8,344万円
④小学生向けプログラミング講座実施事業	108万円

(3)芸術文化・スポーツ活動

810万円

【継続事業】

①芸術鑑賞事業	42万円
②文化・スポーツ合宿誘致推進事業	75万円
③少年団等大会参加支援事業	150万円

【新規事業】

④北海道日本ハムファイターズ応援大使事業	230万円
⑤パークゴルフ場機械器具更新事業	313万円

3. 行財政・住民参加

3,359万円

(1)行政運営

1,324万円

【継続事業】

①地方公会計制度導入事業	385万円
--------------	-------

【新規事業】

②総合行政システム等クラウド化事業	612万円
③固定資産税土地台帳システム導入事業	141万円
④産業会館設備設備等改修事業	110万円
⑤カーシェアリング公用車導入事業	76万円

(2)財政運営

2,035万円

【事業拡充・事業見直し】

①ふるさと納税特産品等贈答事業	2,035万円
-----------------	---------

1. 福祉・医療・保健

5億869万円

(1)高齢者福祉

2,616万円

【継続事業】

①訪問・外出支援サービス事業	822万円
②医療機関等送迎バス運行事業	626万円

【事業拡充・事業見直し】

③高齢者世帯等除雪サービス事業	381万円
④高齢者等福祉サービス利用券交付事業	787万円

(2)介護福祉

2,493万円

【継続事業】

①介護従事者待遇改善事業	570万円
②介護サービス利用者負担軽減事業	659万円
③介護職員初任者研修委託事業	184万円
④外国人介護福祉人材育成支援事業	280万円

【新規事業】

⑤小規模多機能型居宅介護施設「さくら」運営事業	800万円
-------------------------	-------

(3)家庭・児童福祉

6,113万円

【継続事業】

①乳幼児等医療給付事業	749万円
②ひとり親家庭等医療給付事業	162万円

【新規事業】

③認定こども園整備事業	5,052万円
④出生お祝い事業	150万円

(4)障がい者福祉

1,529万円

【継続事業】

①重度心身障がい者医療給付事業	1,529万円
-----------------	---------

(5)保健・疾病予防

1,608万円

【継続事業】

①インフルエンザ予防接種事業(18歳まで)	144万円
②インフルエンザ予防接種事業(高齢者等)	33万円
③緊急風しん抗体検査・予防接種実施事業	155万円
④各種がん検診事業	1,220万円
⑤妊婦安心出産支援事業	56万円

(6)地域医療

3億6,510万円

【継続事業】

①国民健康保険病院事業会計負担金	3億6,281万円
②道南ドクターヘリ運航事業	229万円

5. 生活環境・交通

4億6,644万円

(1) 土地利用	832万円
【新規事業】	
①国土調査修正事業	832万円
(2) 住環境	1,226万円
【新規事業】	
①公共施設等総合管理計画見直し事業	286万円
②泉沢生活改善センター改修事業	640万円
③空家リフォーム助成事業	300万円
(3) 公共交通網	6,734万円
【継続事業】	
①道南いさりび鉄道通学利用者助成事業	220万円
②江差木古内線バス運行事業	5,368万円
③道南いさりび鉄道運行補助事業	1,146万円
(4) 道路	1億4,341万円
【継続事業】	
①建川1線舗装補修事業	560万円
②除排雪事業	7,129万円
【新規事業】	
③新道地区他町道舗装補修事業	282万円
④本町地区道路排水路新設事業	370万円
⑤橋梁点検事業	5,000万円
⑥第1佐女川橋撤去事業	1,000万円
(5) 上・下水道	1億3,005万円
【継続事業】	
①簡易水道事業会計負担金	1,317万円
②下水道事業特別会計繰出金	1億1,178万円
③合併浄化槽設置助成事業	510万円
(6) 環境衛生・環境美化	6,507万円
【継続事業】	
①ごみ収集業務委託事業	3,798万円
②花いっぱい運動事業	71万円
③空家等対策事業	900万円
④P C B 安定器廃棄事業	1,188万円
【新規事業】	
⑤安行苑バリアフリー改修事業	550万円
(7) 国土保全	400万円
【継続事業】	
①河川浚渫推進事業	400万円
(8) 消防・救急	670万円
【新規事業】	
①資機材搬送車更新事業	670万円
(9) 防災	964万円
【継続事業】	
①防災用品備蓄事業	150万円
【新規事業】	
②避難所表示看板設置事業	14万円
③ハザードマップ作製・配布事業	770万円
④泉沢二ノ岱地区一時避難所設置事業	30万円
(10) 交通安全・防犯	1,965万円
【継続事業】	
①交通安全推進委員会補助金	400万円
②防犯灯料金・設置・補修補助事業	475万円
【新規事業】	
③街路灯L E D化事業	1,090万円

4. 産業・観光

1億9,249万円

(1) 農業	1,435万円
【継続事業】	
①多面的機能支払交付金事業	1,295万円
②褐毛和種優良繁殖雌牛導入支援事業	140万円
(2) 林業	7,153万円
【継続事業】	
①森林環境保全整備事業(間伐・更新伐等)	5,334万円
②私有林等整備事業	450万円
③狩猟免許等取得支援事業	32万円
【新規事業】	
④栗植栽事業(パークゴルフ場向かい)	260万円
⑤地域林政アドバイザー委託事業	54万円
⑥認定こども園木材活用整備補助事業	1,023万円
(3) 水産業	2,184万円
【継続事業】	
①漁業者チャレンジ応援事業	1,431万円
【新規事業】	
②新規漁業者育成事業	753万円
(4) 商工業	3,891万円
【継続事業】	
①はこだて和牛ブランド化推進事業	260万円
②商工会補助金	521万円
【新規事業】	
③中小企業・小規模企業経営改善等支援事業	3,000万円
④ふるさと大産業魅力フェア開催事業	110万円
(5) 地域経済	1,215万円
【継続事業】	
①企業振興促進助成事業	1,215万円
(6) 観光	2,604万円
【継続事業】	
①観光交流センター運営事業	1,583万円
②新幹線利用促進PR事業	431万円
③寒中みそぎフェスティバル事業	160万円
④きこない咸臨丸まつり事業	130万円
【新規事業】	
⑤咸臨丸終焉150周年記念事業	300万円
(7) 就労・雇用	767万円
【継続事業】	
①一次産業後継者支援事業	488万円
②わくわく地方生活実現政策パッケージ事業	160万円
③移住・定住対策事業	119万円

令和3年度 予算等審査 特別委員会

予算等審査特別委員会 に付託された議案

議案第1号～第10号
令和3年度各会計予算

議案第19号
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第23号
木古内町高齢者等入浴無料券交付条例の一部を改正する条例制定について

議案第25号
木古内町介護保険条例の一部を改正する条例制定について

新規施策に物足りなさを感じる

新規施策を模索する旨の答弁あり

今後の新規施策提案に期待する



予算等審査特別委員会
委員長 平野 武志

一般会計予算額は、歳入歳出それぞれ前年度より0.8%増の歳入歳出それぞれ40億1千791万円となっている。また、特別会計、企業会計を合わせた全会計では1.5%増の85億3千180万円となっている。

守るために福祉施策など、大胆かつチャレンジする新規施策は、執行方針で述べていた内容からみると物足りなさを感じる。

予算等審査特別委員会による各課の審査で、以下のことに意見を付す。

1. 新規事業について

は、的確な審査を行うために資料添付は必須である。

しかし、新規事業に

するなどの前向きな答弁もあり、令和3年度内の補正、若しくは令和4年度以降の新規施

策提案に期待する。

令和3年度各会計予算10件並びに予算関連議案3件について、3月8日から12日の日程で審査を行つた。

「審査所見」

町長就任後、初めての予算編成であり、所信表明に基づく新規事業も組み込まれてはいるが、人口減少対策に関する事業や高齢者を

令和3年度木古内町

また、各事業における

いざれも木古内町における最重要の医療・福祉施設であり、令和3年度の運営に向け課題を掌握・改善することとで健全経営を目指し、町民が安心して利用できる施設の維持について鋭意努力されたい。

また、小規模多機能型居宅介護施設「さくら」についても上記施設同様、利用者に喜んでもらえる施設になることを期待する。

いざれも木古内町における最重要の医療・福祉施設であり、令和3年度の運営に向け課題を掌握・改善することとで健全経営を目指し、町民が安心して利用できる施設の維持について鋭意努力されたい。

また、除雪に関する

大になつているが、町民サービスの視点からは必要な経費である。

除雪については、行き届いた除雪が行われており、今後も町民のニーズを把握した中で除雪サービスを継続していくいただきたい。

3. 町内の各公共施設は、公共施設等総合管理計画(個別施設計画)に基づき改修を進め、長寿命化を図つてある。令和3年度も公共施設の改修工事を予算計上しているが、町民の意見や要望を把握し現地確認をする中で、

計画に掲載されている改修も検討することを請求する。町民の意見や要望を把握し現地確認をする中で、

議員活動に必要な知識を習得

様々な研修視察 イベントに参加

お知らせ

NEWS &
INFORMATION

2.19 渡島西部四町議会議員連絡協議会総会及び研修会



2月19日（金）、福島町福祉センターにおいて令和2年度渡島西部四町議会議員連絡協議会の総会及び研修会が開催されました。研修会では、「第2青函トンネル構想」について研修しました。

3.19 地方創生について学ぶオンラインセミナーを開催



3月19日（金）、木古内町役場議場において、初めての試みとなるオンラインセミナーを開催しました。

セミナーでは、「アフターコロナ時代の地方創生」について学びました。

3.27 小規模多機能型居宅介護施設「さくら」開所式及び内覧会



4月1日（木）から運営が開始される木古内町小規模多機能型居宅介護施設「さくら」の開所式及び内覧会が3月27日（土）に開催されました。

開所式では、主催者として鈴木慎也町長より挨拶があり、その後、来賓を代表し、「又地信也」議長が祝辞を述べました。利用しやすい施設になることを期待しています。

4.6 木古内町議会議員会 春の交通安全街頭啓発の実施



4月6日（火）から15日（木）まで春の全国交通安全運動がはじまり、議員全員による交通安全の啓発運動を、4月6日（火）にみそぎ浜駐車帶で実施しました。

今後も、議員活動の一環として交通安全啓発運動に取り組んでいきます。

議会だより編集特別委員会

～2年間の議会だよりを振り返る～

■議会だより編集特別委員会委員の皆様をはじめ、議会及び議会事務局のご協力を得ながら2年間委員長を務めさせて顶きました。議会並びに常任委員会の動きなど、わかりやすく丁寧に伝えられることを念頭に、編集・レイアウトに工夫を重ねてまいりました。

町民の皆様には、喜んでお読み頂いたものと思つておりますが、令和2年度は、年度当初から議会も新型コロナウイルス感染症の影響により、各研修会や町内各行事の中止などにより、一部議会だよりのボリュームが減少したことが、残念で悔しい思いもしました。

また、町民インタビューでは、各委員の活動の広さもあり、様々な職業の方々にご協力いただきありがとうございました。

今後も町民の皆様に喜んで手に取つていただける議会だよりの発行を目指して努められるよう願つております。

委員長 相澤 巧

■議会だより編集特別委員会の副委員長として、初めての2年間を務めさせていただきました。

特別委員会委員の皆様をはじめ、町民の皆様には、はじめて、町民の皆様に育てていただきたいことに感謝申し上げます。

「町民インタビュー」の取材をさせていただく中で、町民の方々の町への思いを感じられたこと、掲載された町民の方から反響があつたと喜んでもらえたことが印象に残っています。

私が思う「議会だより」とは、町民の皆様が思つてゐる「町議会を知りたい」を届けられるか。また、議会や議会活動で議員が何をしてゐるかななど、掲載する内容が解りやすく、かつ興味をもつてもらえる紙面となつてゐるか。若年世代にも読んでもらえる企画が重要であると考えています。

副委員長 安齋 彰

■2年間、編集委員として任期を終了することができます。この2年間、正・副委員長をはじめ、各委員共々すべての町民の皆様にご愛読いただきました。

そこで、昨年1月から新型コロナウイルス感染症の流行により、すべての行事が中止、もしくは自粛となり、我々を取り巻く状況が一変し、議会だよりの編集過程においても、大きな影響を与えたことは言うまでもありません。

現状、新型コロナの終息は、まだまだ期待できる状況下にありませんが、次期編集委員の皆さんには、更なる向上心を持つて編集活動に当たつていただきたいと思っております。町民の皆様のご愛読に感謝を申し上げ挨拶といたします。

委員 新井田昭男

■議会だより編集委員として、早いもので任期の2年が経過しました。

町民の皆様におかれましては、毎号ご愛読いただき誠にありがとうございます。

編集会議においては、町民の皆様の目に留まり、ご家族で読んでいただけるよう、わかりやすく丁寧をモットーに会議を開催してまいりました。

そこで、昨年1月から新型コロナウイルス感染症の流行により、すべての行事が中止、もしくは自粛となり、我々を取り巻く状況が一変し、議会だよりの編集過程においても、大きな影響を与えたことは言うまでもありません。

今後、編集会議において、議会だよりの校正などを、さらに精査し、開かれた議会・町民の声を反映させる議会だよりを目指し、皆様に愛される議会だよりとなるよう願っています。

委員 廣瀬 雅一

■この十年余りで木古内町も大きく様変わりし、福祉都市木古内に相応しい国保病院の改築、小規模多機能型居宅介護施設「さくら」の開設など福祉施設が充実しております。

さらには北海道新幹線開業に伴いJR木古内駅や道の駅「みそぎの郷きこない」の誕生、企業誘致によるホテル進出などにより交流人口は増加しました。

一方で、人口減少に歯止めがかからず、人口は3千人台となり、今後は、いかに人口減少を鈍化させるかが急務です。そのために移住定住対策の推進や中央通り拡幅に伴う移転先の確保など、早急に取り組まなければなりません。

編集委員の任期を終えることとなります。新体制の中では、人口減少対策に関する情報や町民の声を反映させる広聴活動を積極的に取り入れ、議会の活動を的確に周知していただきたいと思つております。

委員 竹田 努

町民インタビュー

No.17



～老若男女 木古内町民のインタビューを発信します～

おのだまさこさん
小野田 雅子さん

神奈川県生まれ。
平成23年、父母が住む木古内町に夫と移住しました。

木古内町にきて10年が経過しようとしています。
まだまだ、わからないうじだらけですが、かわいい息子の子育てと仕事に、日々、奮闘中です。



木古内町の良さは？

木古内町は、山と海に囲まれ自然豊かで、北海道新幹線・道南いさりび鉄道・路線バス・令和4年3月に開通する高規格道路などの公共交通機関や複数の診療科目を有する病院施設なども整っています。

また、福祉の関係では、子育てに対する相談体制が充実していることや医療費を18歳まで助成してもらっています。

さらに教育関係では、給食費の無料や学童保育があり、子どもたちが活躍し全道・全国大会に出場する際には全額補助してもらえるなど、子育てがとてもしやすい町だと思います。

今後、町に期待することは？

子どもたちが元気に成長するためにも、雨や雪の時でも屋内で遊べる施設があると嬉しく思います。

これからは国際化社会が訪れ、他の国の人との交流が不可欠になると思います。小学校から英語教育が必修化されることもありますので、ぜひ、国際交流が持てる場があると、これから何かの役に立つことが学べるのではないかと思います。

今後、議会に期待することは？

現在、議会だよりや議会中継などあり、議会からも情報発信をされていると思いますが、政治に関心が薄いとされる若い世代の方たちが、もっと興味をもってもらえる何かがあるといいのではないかと思います。

(インタビュアー：新井田委員)

■町民の皆様には、議会に関する報道ばかりです。ご承知のとおり、「コロナ禍」を向いても「コロナ禍」に関する報道が多く、渡島異株の報道も多く、渡島地区の発生事例も報道されています。現代医学が実施される状況になつたものの、ここにきて変異株の報道も多く、渡島ようやくワクチンの投与をもつてしても、現状を打破できない状況に憤りを感じません。

■7月に開催予定の「東京オリンピック」は、個別的に大きな違和感を感じます。人の流れに感染の大規模なリスクがあるのは、まれもない事実。政府は東日本大震災の復興を掲げ、五輪開催に向けて聖火リレーがスタートしました。いずれにしても、関係外人が数万人規模で来日する中で、感染予防が適正にできるのか、大きな疑問が残る。

■町民の皆様には、厳しい状況が続いているが、必ずこの状況が打破できることに希望を持ちます。この一年間ご健勝でありますようにご祈念申し上げ、編集後記といったします。

議会だより編集特別委員会
委員 新井田 昭男

編集後記